

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第 35 回光通信システムシンポジウム

「光通信が切り拓く未来～分散型社会の実現に向けて～」

実行委員長 星田剛司（富士通）

光通信システム研究会（OCS）では、毎年 12 月に第二種研究会として光通信システムシンポジウムを企画しています。本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため完全オンライン開催とし、12 月 14 日（火）、15 日（水）の両日、第 35 回光通信システムシンポジウムを開催致します。

概要

COVID-19 の猛威が社会や産業の DX を加速させる中、これまで都市に集中していた人や経済活動、情報の流れを地域が担う「分散型社会」への移行が模索されている。分散型社会の進展にはリモートワークや ICT を活用したコミュニケーションの普及が必要であり、それを支える光通信技術の高度化が不可欠である。分散型社会の実現に向けて、光通信が切り拓く未来を探る。

日時 2021 年 12 月 14 日（火） 13：00～17：30（懇親会：18：00～19：00）

15 日（水） 9：00～17：00

開催方法 完全オンライン（ZOOM ミーティング）

〔参加費、予稿集代〕 無料

〔参加申込方法〕

・光通信システム研究会（OCS）の Web ページにて 11 月下旬に掲載予定です。

<https://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

・お申込の際に連絡頂いた情報は、OCS 研究会にて管理し、光通信システムシンポジウムの運営、及び、OCS 研究会からの連絡以外の目的には使用致しません。

プログラム

*変更の可能性あり。最新プログラムや講演者情報は、OCS 研究会の Web ページを参照下さい。

<https://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

12 月 14 日（火） 13：00～17：30

1. 開会の辞：13：00～13：05
2. 基調講演：13：05～13：55
3. 2021 年 OCS 表彰式：13：55～14：05
4. 展示会（ショートプレゼン 1）：14：05～14：45
5. ワークショップ 1：15：00～17：30

◎17：30～18：00 にポスターセッション概要紹介動画を配信します。

◎18：00～19：00 にオンライン懇親会を行います。

12 月 15 日（水） 9：00～17：00

◎8：30～9：00 にポスターセッション概要紹介動画を配信します。*1 日目と同じ内容です。

6. 招待講演：9：00～10：45
7. ポスターセッション：10：50～11：50
8. IEEE Photonics Society TS 主催講演：13：00～13：35
9. 展示会（ショートプレゼン 2）：13：35～14：15
10. ワークショップ 2：14：20～16：50
11. 閉会の辞：16：50～17：00

〔展示会〕 出展社、研究機関によるショートプレゼンを実施予定です。

〔講演内容等に関する問合せ先〕

山本秀人（NTT 未来ねっと研究所）

TEL〔046〕859-3142

E-mail：ocs-contact@mail.ieice.org

〔参加申込に関する問合せ先〕

小田拓弥（フジクラ）

TEL〔043〕484-2197

E-mail：ocs-contact@mail.ieice.org

主催 光通信システム研究専門委員会

協賛 IEEE Photonics Society Tokyo Section, 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会 (PIF), 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する特別研究専門委員会 (EXAT)

●第 35 回多値論理とその応用研究会

座長 弓仲康史 (群馬大学)

日時 2022 年 1 月 8 日 (土) 10:00~15:00 (時間は予定)

会場 オンライン開催 (Zoom を予定) オンライン実行幹事: 宮内亮一 (東京理科大)

講演プログラム (暫定版*) * 題目や講演順序の変更があるかもしれません。

1. (仮) 連続時間線形イコライザを用いた多値信号伝送の波形整形技術の検討 ○塚越 翔・弓仲康史 (群馬大)
2. 貴金属比の特性を利用した等価時間サンプリングの波形取得効率解析
○山本修平・佐々木優斗・趙 宇杰・魏 江林・桑名杏奈 (群馬大)・佐藤賢央・石田 嵩・岡本智之・市川 保 (ローム)・中谷隆之・Tran Minh Tri・片山翔吾・畠山一実・小林春夫 (群馬大)
3. コード選択ヒストグラム法: 2 トーン入力信号を用いた ADC 線形性テストの時間短縮
○趙 宇杰・桑名杏奈・魏 江林・片山翔吾 (群馬大)・佐藤賢央・石田 嵩・岡本智之・市川 保 (ローム)・中谷隆之・畠山一実・小林春夫 (群馬大)
4. 剰余系サンプリングによる高周波/アナログデジタル混載集積回路の試験技術の検討
○片山翔吾・阿部優大・桑名杏奈 (群馬大)・浅見幸司・石田雅裕 (アドバンテスト)・大田龍弥・小林春夫 (群馬大)
5. フィードフォワード型 $\Delta\Sigma$ 変調器における量子化雑音リーク ○小泉智明・和保孝夫・林 等 (上智大)
6. (仮) 連言標準形から可逆論理回路への効率的な変換 ○赤石 讓・平山貴司・山中克久 (岩手大)
7. 事例の集合から分類規則を生成する方法 笹尾 勤 (明大)
8. (仮) シストリックアレイによる多層パーセプトロンの学習アクセラレータについて
○妹尾豪士・中原啓貴 (東工大)
9. 敵対的生成 3 値化ネットワークの最適化に関する研究 ○中村建一・中原啓貴 (東工大)

参加について:

参加資格 特になし

参加申込 上記多値論理研究会のホームページ (<https://mvl.jpn.org/>) にて事前登録

主催 ディベンダブルコンピューティング研究会

共催 多値論理研究会